



No. 2 7

有脇小学校校長だより

2019・10・31

# 歴史を学ぶ旅 友と過ごす旅

令和元年度修学旅行記

6年生が10月17日・18日と修学旅行へ出かけました。

まずは、社会科で学習したことを、それぞれの場所で検証しました。

- |     |   |
|-----|---|
| 1日目 | 学校→法隆寺→東大寺→班別研修（二月堂・三月堂・興福寺・春日大社・国立博物館・若草山・氷室神社・奈良県庁・東大寺ミュージアム等）→旅館 |
| 2日目 | 旅館→若草山（参加自由）→鹿苑寺（金閣寺）→二条城→清水寺→学校                                    |

という行程でした。シーズンですので、どこも修学旅行生であふれかえっていました。

はじめの見学地、法隆寺では、建築物に感動し、宝物殿では、一材から作られている木造観音菩薩立像（百済観音）や玉虫厨子を鑑賞しました。昼食はカツカレーと思わせておいて、カレーでした（泣）。



次に東大寺へ行きました。盧舎那仏（大仏）の大きさに驚き、ここでも人が大勢いましたが、全員が「柱（鼻）の穴くぐり」をしました。ここで班別研修を開始しました。自分たちで計画した見学場所を巡って、ゴールは旅館「白銀屋」です。驚きは、鹿せんべいが50円値上がりして200円になっていました。ゴールは17時でしたが15分前になってもどこの

班も姿を見せません。大丈夫かなと思った5分後、一気に全部の班がゴールしました。終わってみれば、全班10分前に集合できました。素晴らしかったです。

そして夜は、修学旅行のもう一つの楽しみですよ。食事が終わって、買い物と入浴を交互にして、そのあとは自由時間です。本年度、宿が変わりました。男子も女子も大部屋一部屋です。これぞ修学旅行って感じですよ。残念ながら「まくら〇げ」は行われませんでした。有意義な時間を過ごせたようです。

二日目の朝は、朝の支度ができた希望者で若草山



に散歩に出かけました。宿の真ん前が若草山なんです。まず、バスで京都に移動しました。今年もバスガイドさんは昨年と同じ方です。昨年、とても楽しい旅をすることができたので、できることなら今年も同じ方だと指名したところ、運良く同じガイドを頼むことができました。運転手さんが「カツオ」というお名前でしたので、ガイドさんは「ワカメ」という愛称で二日間過ごしました。これだけでも楽しそうでしょ（笑）。

はじめに鹿苑寺に行きました。金閣寺です。有脇の子たちは一生忘れないと思います。あの金閣の前で全員で指さして「あっ！鹿苑寺にある金閣だ！」と叫びましたから。すごいでしょ。（ちなみに昨年も叫んでいます。バスガイド「ワカメ」さんの指示です。昨日は東大寺大仏の前でも「あっ！盧舎那仏だ！」と全員で指さして叫びました。（笑）

次に二条城を見学しました。ここは日本の歴史のターニングポイントに登場す



る重要な場所です。国宝のふすま絵や、それぞれの部屋の意味などをしっかり学習しました。「鶯張りの廊下」の仕組みも庭園に出て観察することができました。日本らしい“心理戦”が繰り広げられた場所なんですね。

昼食をとったあと、最後の見学地「清水寺」に行きました。ここでも班別研修を行いました。お土産を買う時間も設定されていました。「清水の舞台」が今年もまだ改修中でした。歴史を考えればそう簡単には改修作業は終わらないんでしょうね。大きくなった自分たちでまた来る楽しみができましたね。清水寺には「音羽の滝」という人気スポットがあります。ところが上（舞台）から見ると、某テーマパークの人気アトラクションのような長蛇の列です。チェックポイントを通る時間や集合時間は決まっています。どうしたと思いますか。すべての班が「音羽の滝」をカットしました。すごい決断だったと思います。もう一つ清水寺に来る楽しみを残しました。そして、名神高速道路の草津ジャンクションの渋滞に巻き込まれ、予定の30分遅れで無事学校へ到着しました。

そろそろ帰ですか

今回の旅行を通して、子どもたちは「時間を守る」ことへの意識が素晴らしかったです。当たり前のことですが、まわりのことを考え行動することの第一歩は「時間を守る」ことだと思います。その意識を二日間しっかりもつことができました。そして、まわりへの感謝の気持ちです。それは学校へ到着する前のバスの中での帰着式で、代表の子どもがお礼の言葉として伝えてくれました。まわりを思い、まわりに感謝する。うちの6年生は、すてきな子どもに育っています。有脇小学校の顔としてあと半年、充実した小学校生活を送ってほしいと思います。

（春日大社に続くゆるやかな上り坂、年々つらくなるのは・・・58だからねえ。）